

平成10年緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰受賞者名簿
(五十音順)

[個 人]

おかだ しょういち
岡田 昭一 (石川県羽咋郡志賀町)
かたむら りょうさく
片村 良朔 (富山県新湊市)
たわ よしむ
田和 好 (大阪府豊能郡能勢町)
みにや みつろう
三国谷 光郎 (北海道枝幸郡枝幸町)

[団 体]

おおみやはな うんどうすいしんかい
大宮花いっぱい運動推進会 (埼玉県大宮市)
かすみ こ かい いくせいかい
神住子ども会・育成会 (茨城県北相馬郡藤代町)
かぶしがいしや し が だいいちこうじょう
株式会社ノエビア 滋賀第一工場 (滋賀県八日市市)
ざいだんほうじんきんばらちさんちすいざいだん
財団法人金原治山治水財団 (静岡県磐田郡佐久間町)
さぬか かい
佐糠ひまわり会 (福島県いわき市)
し ぼ た し みどり はなしんこうきょうかい
新発田市緑・花振興協会 (新潟県新発田市)
すぎ こ しょうねんだん
杉の子みどりの少年団 (大分県豊後高田市)
たいへいようこうぎょうかぶしがいしや きたおおがきこうじょう
太平洋工業株式会社 北大垣工場 (岐阜県安八郡神戸町)
はやしまちよう まち うつく うんどう すいしんきょうぎかい
早島町「町を美しくする運動」推進協議会 (岡山県都窪郡早島町)
みんまち く あいおうかい
三馬地区愛桜会 (石川県金沢市)

[学 校]

かごしまけんりつ か せ だ じようじゆんこうとうがっこう
鹿児島県立加世田常潤高等学校 (鹿児島県加世田市)
と わ だ しりつきたぞのしょうがっこう
十和田市立北園小学校 (青森県十和田市)
ひらおちようりつ ひら おしょうがっこう
平生町立平生小学校 (山口県熊毛郡平生町)

[地方公共団体]

おぶせまち
小布施町 (長野県上高井郡小布施町)
かわなべちよう
川辺町 (鹿児島県川辺郡川辺町)
くれし
呉市 (広島県呉市)
たらぎまち
多良木町 (熊本県球磨郡多良木町)
とよままち
登米町 (宮城県登米郡登米町)
はぎわらちよう
萩原町 (岐阜県益田郡萩原町)
るもいし
留萌市 (北海道留萌市)

[個人]

氏名	<p>おかだ しょういち 岡田 昭一</p>
住所	<p>石川県羽咋郡志賀町</p>
功績の概要	<p>同氏は、昭和45年に専業林家となって以来、ヒノキ、スギの良質大径材生産を中心目標とした林業経営を行い、現在でも自家労力を主体として自己山林約78haの保育管理等に努め、長年にわたって県土の緑化に地道に取り組んでいる。</p> <p>同氏は、常に新しい情報と技術を導入し地域の育林技術の向上に積極的に取り組み、その中でも特に、「石川県ではヒノキ造林は漏脂病のため駄目だ。」と長年言われてきた中で、ヒノキ造林導入のため、導入産地の検討、適地の判定、保育の管理方法等を研究し、模範林約10haを造り上げ、まず地元林業研究グループを介してヒノキ造林を普及させ、その成果の結果、昭和55年頃以降、県下一円にヒノキ造林が急速に拡大しその普及の成果は多大なものがある。</p> <p>また、昭和62年に、石川県の林業後継者指導林家に認定され、ヒノキ造林技術の指導者として、地域の林業後継者会議等を通じ林家の技術指導やサラリーマン林家への林業技術指導、緑の少年団への森林観察や植林に関わる指導を行う等、緑化の普及啓発にも尽力している。</p>

[個人]

氏名	<p>かたむら りょうさく 片村 良朔</p>
住所	富山県新湊市
功績の概要	<p>同氏は、「花と緑の県づくり」の推進母体として県と市町村が設立した（財）花と緑の銀行の地方頭取に昭和49年に就任して以来、24年間の長期にわたって、地域の花と緑のリーダーとして、花の街道づくりや地域での緑化指導に熱心に取り組んでいる。</p> <p>主な活動として、同氏は昭和57年に花と緑のボランティアグループを結成し、延長500mの生活道路の沿線を「わらべ街道」と称し、コスモス、カンナ、ナデシコ等の花壇を次々に造成した。また、昭和58年からは、市街地の道路沿い1kmにプランター300個を設置し、フラワーラインづくりを行うほか、昭和60年からは、片口小学校区内の公民館3か所と公園6か所に総面積780㎡の花壇を設置し、その育成指導に当たっている。</p> <p>平成7年からは、（財）花と緑の銀行新湊支店の理事長に就任し、市内全般の花と緑の推進活動の計画づくりや連絡調整等にも携わり、地域の緑化に更に大きく貢献している。</p>

[個人]

氏名	<p style="text-align: center;">た わ よしむ 田 和 好</p>
住所	<p style="text-align: center;">大阪府豊能郡能勢町</p>
功績の概要	<p>同氏は、教員時代に山野にコースを設けて生徒とともに歩き、森林に関わる実地指導等を行っていたが、昭和50年にこの活動が本になり現在でもPTA等がその教えを受け継いでいる。また、昭和40年代後半には、生徒と学習園を造成する等ゆとり教育の前身として府教育委員会からも高く評価されている。</p> <p>三草山で確認された希少な蝶の保護のため、いち早く地域住民等との連携し、採卵禁止の看板の設置や（財）大阪みどりのトラスト協会による生息地への地上権設定等に尽力し、現在でも森林ボランティアリーダーとして定期的に登山道の巡回・指導を行う等、三草山の自然保護等にも貢献している。</p> <p>平成5年からは、同協会のみどりのボランティアとして活躍しており、自然観察会での説明は参加者に好評を博し、またボランティアの会合でも積極的な助言を行うなど貴重な存在となっている。</p> <p>昭和40年代から、大阪府文化財愛護推進委員として国等の天然記念物に指定された樹木の巡視・治療や、大阪府自然環境保全指導員として緑地保全に関わる指導・助言等を行い、緑化の推進等に尽力している。</p>

[個人]

氏名	<p>みくにや みつろう 三国谷 光郎</p>
住所	<p>北海道枝幸郡枝幸町</p>
功績の概要	<p>同氏は、町内で催される植樹祭や植樹活動等で常に自ら先頭に立ち、広く町内の住民や団体等に協力と参加を働きかけて緑化事業を推進する等、常日頃から町民の緑化意識の高揚に貢献している。</p> <p>昭和20年代後半から自ら栽培した花木等を愛好者に無償提供し、緑の大切さを普及啓発していたことをきっかけに、昭和45年頃に「花いっぱい運動」を提唱し、以来現在まで、町内の各種団体の協力を得ながら各所に花木や草花を植栽し、日々の維持管理活動を地道に取り組んでいる。特に公共公益施設周辺での緑化等の企画・提案に積極的に参加し、花木の植栽、剪定、補植等に情熱を注ぐなど、町の緑化に貢献している。</p> <p>また、昭和57年から平成元年まで町内三笠山で町民参加で行われたシバザクラ約17万株の植栽活動は、同氏の指導と助言で進められ、それを契機に、昭和61年から「芝桜まつり」が町内の観光イベントとして定着している。「芝桜まつり」では、参加者に花苗を無料配布するとともに、緑化による住みよい町づくりを呼びかける等、緑化思想の普及啓発にも貢献している。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>おおみやはな うんどうすいしんかい 大宮花いっぱい運動推進会</p>
<p>所 在 地</p>	<p>埼玉県大宮市</p>
<p>代 表 者</p>	<p>会 長 新藤 享弘</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同会は、昭和61年に「花と緑のあふれる街づくり」を市民自らの手で実行していくことを目的として結成されたボランティア団体である。</p> <p>結成以来、会員たちの熱心な活動により、駅や歩道沿い、公園、学校等の多くの公共の場に花を植栽し、季節ごと年3回の植え換え作業を行うとともに、毎週1回、散水、除草、清掃及び花がら摘み等の管理作業を実施している。これらの管理地は、四季を通じ様々な花々に彩られ、訪れる市民の目を楽しませ、街に潤いと安らぎをもたらしている。</p> <p>また、毎年5月には、市が開催する緑化啓発イベント「シビックグリーン大宮」に積極的に参加し、会員によるプランターでの花づくりを競う「花いっぱいコンクール」を始め、苗木及び鉢物の無料配布とその育成講習会、生垣づくり講習会等を実施し、緑化普及啓発に取り組んでいる。</p> <p>さらに、会員を講師とした花づくり講習会や花と緑のまちづくりシンポジウムの実施、会員の手記による機関誌の発行等様々な活動を通じ、市民に対する緑化意識の高揚にも大きく貢献している。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>かすみ こ かい いくせいかい 神住子ども会・育成会</p>
<p>所 在 地</p>	<p>茨城県北相馬郡藤代町</p>
<p>代 表 者</p>	<p>会長 遠藤 晴久</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同会は、昭和63年に結成以来、町内の他の5団体とともに、小貝川河川敷神住地先を対象として、河川敷に多くの花を咲かせ、地域の活性化を図ることを目的としたフラワーカナル事業に取り組んでいる。</p> <p>具体的には、河川敷の面積約5,000㎡に、毎年春にはポピー、秋にはコスモス等の植え付けを行い、ポピーの見頃である5月に開催される「花まつり」には、町内はもとより、近隣市町村や県外からも花見やイベントに参加する観光客が訪れる等、地域の活性化に役立っている。</p> <p>これら事業の実施によって、小貝川堤はゴミや空き缶の投棄が減少し、年間を通じてサイクリングや散歩コースとなり、決壊する危険な川のイメージから、美しい親しみのある川のイメージへと変わってきた。</p> <p>また、平成8年にはみどりの愛護功労者建設大臣賞表彰を受賞した後は、これを励みとして、従来にも増して人々に楽しんでもらえるよう花の種類を増やしたり、美しい花が咲かせられるよう努力しており、住民の緑化意識の向上と河川愛護思想の普及に大きく貢献している。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>かぶしきがいしゃ しがだいいちこうじょう 株式会社ノエビア 滋賀第一工場</p>
<p>所 在 地</p>	<p>滋賀県八日市市</p>
<p>代 表 者</p>	<p>工場長 相宮 青一</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同工場は、「自然を科学する」をテーマに自然と人と建物が調和した景観を志向しており、全従業員が緑化推進に積極的に取り組んでいるほか、客土、施肥、暗渠埋設等の土壌改良措置を講じ、良好な緑地環境の創出に努めている。</p> <p>敷地周辺部には、地元八日市市の市木であるアカマツの自然林を生かし周辺環境との調和を図りつつ、モチ、ソヨゴ（檜）、ヤブツバキ等からなる庭園風の開放的な緑地を整備し、四季折々の花が溢れる工場を創出するとともに、工場隣接地には約1万㎡の薬草園を整備・開放し、訪れる人々の好評を博している。</p> <p>また、開かれた工場を目指し、工場見学の受入れや緑地等を開放した食事会を開催するなど、地域社会との融和にも積極的に取り組んでいる。</p> <p>さらに、自治体や周辺企業の要請により、緑化に関する研修の受入れ、技術指導を行うなど工場緑化の普及啓発に積極的に取り組むとともに、地元の「琵琶湖美化運動」に参画するなど、自社工場のみならず地域緑化・美化活動の推進にも貢献している。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>ざいだんほうじんきんばらちさんちすいざいだん 財 団 法 人 金 原 治 山 治 水 財 団</p>
<p>所 在 地</p>	<p>静岡県磐田郡佐久間町</p>
<p>代 表 者</p>	<p>理事長 矢部 和夫</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同財団は、明治37年に設立されて以来、長年にわたって天竜川流域の治山、治水及び水源涵養のために上流地域の植林事業に積極的に関わり、その管理経営する森林面積は1,123haに及び、その全てが水源涵養を目的とした保安林となっている。</p> <p>同財団の創始者である金原明善翁が治山、治水のために行った植林の教えは、現在の財団の植林事業に受け継がれ、北遠地方一帯まで普及し、全国でも優良な天竜林業地を形成している。</p> <p>また、森林経営においては、昭和60年から森林内容の一層の充実を図るため、主伐期を延長し、高齢級間伐に順次切り替えるなど、周辺地域の林業関係者の良い手本となっている。</p> <p>さらに、昭和45年には地域における林業後継者を養成することを目的に研修施設を寄贈し、現在も静岡県立農林短期大学校林業分校として活用されており、また、財団所有林を活用して技術実習を実施するなど、地域林業の育成にも積極的に関与している。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>さぬか かい 佐糠ひまわり会</p>
<p>所 在 地</p>	<p>福島県いわき市</p>
<p>代 表 者</p>	<p>会 長 佐藤 勝代</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同会は、昭和53年に佐糠生活改善グループとして発足し、町内を通過している一般国道6号線の緑地帯が空き缶やゴミで汚されているのを見て、これらを清潔で美しい緑地帯に戻そうと活動を始めた。</p> <p>結成当初、会員は数名で忙しい農作業の合間に緑地帯の一部を利用して地道に花壇づくりを行い、長年にわたってドライバーや通行者に潤いと安らぎを与え続けた。その後活動の趣旨に賛同協力する住民も増え、会員も16名に達したことから、平成8年に会の名称を「佐糠ひまわり会」に変更し、約300㎡の花壇にマリーゴールドやサルビア、会の名称になっているヒマワリ約1,000株の植え付けや手入れ、除草等を年4回行っている。</p> <p>これらの活動により、当地区は常に美しい緑と可憐な花々に彩られ、地域住民の生活環境に対する意識はもとより、ドライバー等の交通安全及び道路愛護思想の高揚に大きく貢献している。</p> <p>こうした同会の運動の輪は、地元企業の従業員の植え付け作業への参加や、市内各地の緑化・美化活動へと大きく広がりつつある。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>しばたし みどり はなしんこうきょうかい 新発田市緑・花振興協会</p>
<p>所 在 地</p>	<p>新潟県新発田市</p>
<p>代 表 者</p>	<p>会 長 布志原 毅</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同会は、市内の自然環境を保全するとともに、緑化と花いっぱいの推進を図り、市民の豊かな心情を培い、平和で明るく美しい文化的な街づくりに寄与することを目的として昭和60年に設立された。</p> <p>主な活動として、多くの人々に実際に緑にってもらい、その楽しさを体験してもらう「フラワーフェスティバル」や「市民植樹祭」の開催、専門家を講師に招いて花づくりを基本から学ぶ「花づくり講習会」の実施、学校や家庭、職場等で緑を大切に育てている人を応援する「花壇コンクール」の開催等多彩な活動を行っている。</p> <p>また、春先には、地域の人々や団体に球根や花苗等の無料配布を行っているほか、道路沿線や公共施設の広場に、サルビア、マリーゴールド、アゲラタム等の四季を織りなす色とりどりの草花を植え、多くの市民の目を楽しませてくれるなど、様々な緑化活動に積極に取り組んでいる。</p> <p>現在では、これらの緑化保全・推進活動は、同会内にとどまることなく、市民全般に着実に浸透してきている。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>すぎ こ しょうねんだん 杉の子みどりの少年団</p>
<p>所 在 地</p>	<p>大分県豊後高田市</p>
<p>代 表 者</p>	<p>代表者 岡部 裕一</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同少年団は、昭和57年に豊後高田市東部に位置する屋山（573m）中腹に、地元産の間伐材を利用した丸太小屋、調理場等を自力で建設し、「屋山子供の里」と名付け、そこで毎年キャンプを行い、自分達が植えた樹木の管理や、樹木医を講師とした森林教室、植樹・育樹活動、木工品の制作、施設の維持管理等を行い、森林・緑への理解を深めている。</p> <p>地域での活動は、同市内の公園や神社でのアジサイ等の植樹、各種緑化行事での植樹活動や毎年3月と10月に緑化木の配布を行うなど地域緑化にも積極的に取り組んでいる。</p> <p>また、鳥類の分布調査を兼ねたバードウォッチングや植物の成育調査を兼ねた自然観察を行い、郷土の自然への理解を深めている。</p> <p>同少年団の5年生以上の団員については、リーダーの資質を養うため、毎年研修を行うほか、卒団後に先輩の指導に当たるジュニアリーダーの育成や、ジュニアリーダーから育成会員となることを推奨する等、次代を担う緑のリーダーの養成にも努力している。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>たいへいようこうぎょうかぶしきがいしゃ きたおおがきこうじょう 太平洋工業株式会社 北大垣工場</p>
<p>所在地</p>	<p>岐阜県安八郡神戸町</p>
<p>代表者</p>	<p>取締役第二事業副事業部長 木村 晃治</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同工場は、河川の氾濫原を造成した工業団地に立地しており、その緑化にあたっては砂礫状のやせた土壌を、客土・施肥等により改良を繰り返し、活着・育成を図るとともに、随時、花木等の補植に努めるなど、現在の緑豊かな工場にするため地道に整備を行ってきた。</p> <p>敷地内には、84種、約7,000本の落葉樹、常緑樹が植栽され、春はサクラ、夏はキョウチクトウ、秋はモミジ、冬はサザンカと一年中人々の目を楽しませる美しい庭園風の緑地が整備されているとともに、建物周辺や敷地周辺部には樹木を効果的に配し、工場周辺の生活環境との調和にも十分な配慮がなされている。</p> <p>また、工場見学を積極的に受け入れるとともに、構内の緑地やグラウンド、テニスコートを地域住民等に開放し、周辺地域と融和を図り、地域住民の情操涵養等に貢献している。</p> <p>さらに、自治体や周辺企業等の要請により、緑化に関する視察等の受入れや研修会での工場緑化に関する体験発表等を実施しており、工場緑化の普及啓発にも積極的に取り組んでいる。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>やしまちょう まち うつく うんどう すいしょうきょうぎかい 早島町「町を美しくする運動」推進協議会</p>
<p>所 在 地</p>	<p>岡山県都窪郡早島町</p>
<p>代 表 者</p>	<p>会 長 内田 豪</p>
<p>功績の概要</p>	<p>早島町では、昭和41年頃から「花いっぱい運動」を実施していたが、その運動の輪を拡大するため、町民の自主的な参加により、昭和56年に「町を美しくする運動」推進協議会を設立した。</p> <p>同協議会は、町民の自主的な参加による学校、PTA、商工会等39の団体から構成され、年齢層も幼稚園児から高齢者まで各層の地域住民が参加し、明るく住みよい美しい町づくりの実現をめざした町民運動を展開している。</p> <p>具体的な取組としては、花の愛好者約400人が「花の銀行友の会」事業として公共施設や住宅街の沿道などに四季折々の草花を植栽しているほか、小学校の女子児童が自主的なサークルとして「フラワーガールズ」を結成し、下校時に花壇への水やりや管理を実施している。</p> <p>また、「フラワーロード整備」による街頭の植栽や年4回の公共施設等の花壇の植え換え、「ゴミ持ち帰り運動」、空き缶の回収などを実施し、地域住民の美化意識の普及啓発にも努め、こうした活動を長年にわたって実施してきており、地域環境の美化、緑化の推進に積極的に取り組んでいる。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>みんま ちく あいおうかい 三馬地区愛桜会</p>
<p>所 在 地</p>	<p>石川県金沢市</p>
<p>代 表 者</p>	<p>会 長 野本 昇</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同会は、地区内を流れる伏見川、高橋川の河川改修に伴うサクラ並木の記念植樹を契機に、流域14町会を構成員として昭和63年に発足した。</p> <p>地元町会の発案により「伏見さくら通り」と命名された当地において、同会は「サクラの名所」の復活をかけ、その維持と美化を図るべく、月に1、2回のサクラの手入れ、除草・清掃、花壇づくり等の活動を通年にわたって地道に行っている。また、年に2回は地元町会の支援のもと、約500人の参加を得て延長訳3km、面積約3,000㎡の河川敷の草刈り、清掃等を実施しているほか、老人会等とともにサルビア1,000株、マリーゴールド500株等の植栽を行うなど、緑化活動の推進に努めている。</p> <p>さらに、平成3年からは、堤防敷2.2haに県及び市と協力しながら公園を整備し、サクラ並木とともに市民の憩いの場をとして広く利用されている。</p> <p>こうした活動は、潤いと安らぎのある河川空間を生み出し市民の河川への親しみを培うなど、良好な河川環境の創出に大きく貢献している。</p>

[学 校]

<p>名 称</p>	<p>かごしまけんりつかせたじょうじゅんこうとうがっこう 鹿児島県立加世田常潤高等学校</p>
<p>所 在 地</p>	<p>鹿児島県加世田市</p>
<p>代 表 者</p>	<p>校 長 坂本 道應</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同校は、時代の変化に即応できる人材育成と活力に満ちた特色ある学校づくりを目指し、昭和44年から「花と緑でわが学校・郷土を美しくしよう」をテーマに掲げ、生徒・教職員・P T Aが一体となった環境緑化の推進をしている。</p> <p>同校の特徴的な活動としては、地球温暖化防止効果があるとされているケナフの試験栽培や、近隣の学校や施設に苗を提供し環境教育等の支援を行っている。また、地域の幼稚園、小・中学校、養護学校の子供を迎えて、サツマイモや落花生を栽培する「ふれあい農園」の実施、中学校の緑化担当者の一日体験学習や県民体育大会実施に伴い関係機関・学校に対して花苗を提供し、花いっぱい運動の中心的役割を果たすなど地域との連携を図りながら積極的な緑化推進活動を展開している。</p> <p>さらに、加世田市内の河川敷や運動公園等の空き缶拾いや草払いを定期的実施したりするなど、地域の環境緑化にも積極的に取り組んでおり、県内の緑化活動のモデル的な役割を果たしている。</p>

[学 校]

<p>名 称</p>	<p>とわだしりつきたぞのしょうがっこう 十和田市立北園小学校</p>
<p>所 在 地</p>	<p>青森県十和田市</p>
<p>代 表 者</p>	<p>校 長 工 俊男</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同校は、昭和28年に創立され「開拓精神」を校風に新たな伝統づくりとして、教職員・児童・PTAが一体となった緑化活動を推進しており、植樹及び校庭整備等「学校の特色づくり」に取り組んでいる。昭和35年には、全校あげての植林活動により、開校以来の活動が評価され、当時としては東北一と言われる立派な校庭が作られた。</p> <p>また、情操教育の一環として「情操豊かで意志の強い子ども」を育成することを目標に、全校児童による花壇づくりや教材農園の栽培活動を通して、勤労体験学習や生命を尊重する心を育てる教育の充実を図っている。</p> <p>さらに、平成3年からは、新たな花壇、校舎斜面の芝生や岩石園の復元などの整備に取り組み、緑に囲まれた学習環境は「環境を生かした学習」を推進するモデル的な存在となっている。</p> <p>現在では、約30,000㎡を越える広大な敷地に約1,700本の樹木が植えられ、花壇や教材園等も整備され、生活科学習・勤労体験学習・生命尊重教育・環境教育等に有効に活用されている。</p>

[学 校]

<p>名 称</p>	<p>ひらおちょうりつひらおしょうがっこう 平生町立平生小学校</p>
<p>所 在 地</p>	<p>山口県熊毛郡平生町</p>
<p>代 表 者</p>	<p>校 長 兼田 力造</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同校は、昭和38年に習成・大野・曾根の三小学校の名目統合すると同時に緑化計画を立案し、昭和41年の学校統合を契機に同計画を推進する学校環境緑化推進委員会を設け、県教育委員会や町教育委員会の指導のもと、PTAや地域住民の協力を得、長年にわたって校内緑化活動を実施し、学習環境の整備を進めている。</p> <p>同校の特徴的な活動としては、児童委員会の組織の中に園芸委員会を設けて校内の緑化・花いっぱい活動の年間計画を作成するとともに、毎月1回の作業日に土づくりから種蒔き、除草、灌水、施肥等まで一貫した自主管理を実施しており、週1回のグリーンタイムでは全校生徒が一斉に花壇の世話をしたり、一人一鉢運動の一環として草花の管理を行っている。</p> <p>このように草花や花木を育てる活動を通して、児童は自然に対する興味・関心を高め、自分で育てることへの達成感や感動体験を得るとともに、身の回りの自然に対する優しさと思いやりの心を育てている。</p>

[地方公共団体]

<p>名 称</p>	<p>おぶせまち 小布施町</p>
<p>所 在 地</p>	<p>長野県上高井郡小布施町</p>
<p>代 表 者</p>	<p>町 長 唐沢 彦三</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同町は、「うるおいのある美しいまちづくり」の実現に著しく寄与していると認められるものに対する助成、及び表彰制度を盛り込んだ条例を平成2年に制定し、積極的なまちづくりの推進を図っている。この取組により、花壇や生け垣、フラワーポットの設置などを町民が率先して実行するようになり、同町を訪れる年間約100万人の観光客と花と緑を通じて心のふれあいができるなど、町民の緑化意識の向上に大いに役立っている。</p> <p>また、平成4年には同町の緑化推進の中核となる「フローラルガーデンおぶせ」を開設し、町民に花と緑に関する情報提供を積極的に行っている。</p> <p>さらに、同町では、町民の緑化意識の高揚を図るため、町民から参加者を募り、緑化推進の先進地であるヨーロッパなどへの研修視察を実施しており、参加者は帰国後、地域における緑化推進の先導役として、花壇づくりや公園緑化等の活動に積極的に取り組んでいる。</p> <p>このように同町は、行政と町民が一体となって地域の緑化運動を推進している。</p>

[地方公共団体]

<p>名 称</p>	<p>かわなべちょう 川辺町</p>
<p>所在地</p>	<p>鹿児島県川辺郡川辺町</p>
<p>代表者</p>	<p>町 長 東 展弘</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同町は、万ノ瀬川の中流域に開けた水源地帯で、多くの清流や湧水に恵まれ、平成7年には「水の郷百選」に選定されるなど、「水を大切にし」、「水とともに生きる町」を掲げ、水源涵養を目的とした保安林の拡大とその整備を積極的に進めている。</p> <p>同町では、昭和61年から各集落での緑化意識の高揚と緑化活動の輪を広げるため、計画的に約700本のサクラ、イヌマキ、モミジ等の苗木の配布や植樹を実施するなど地域の緑化推進に努めている。</p> <p>また、活力と潤いあふれる山村・漁村づくりを目指して、森を再生し、川や海の水質環境を守ることを目的に、林業と漁業の関係者が互いに協力し合って取り組んでいる「魚翔の元気森」での緑化活動を地域住民とともに率先して支援している。</p> <p>さらに、環境教育の一環として、町内の小学校に緑の少年団を組織し、子供たちへ植樹、下草払い、川の清掃作業等の体験学習を通して緑と水の間を関係を理解させ、森林を守り育てる意識を培うための活動を進めるなど緑化活動に積極的に取り組んでいる。</p>

[地方公共団体]

<p>名 称</p>	<p>くれし 呉市</p>
<p>所在地</p>	<p>広島県呉市</p>
<p>代表者</p>	<p>市長 小笠原 臣也</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同市は、市街地内63路線、42.9kmに及ぶ道路を緑化整備し、松くい虫による被害跡地に年間約12,000本の樹木を植樹するなど、緑化推進に積極的に取り組んでいる。</p> <p>毎年開催している「くれ・花とみどりの祭典」では鉢花200鉢、苗木2,000本を、「呉みなと祭り」では苗木2,000本を20年以上にわたり無料配布を続け、秋の植樹祭では苗木150本を学校等公共施設に植栽するなど、官・民協力による地域の緑化にも取り組んでいる。</p> <p>また、平成8年には、市民・民間団体等の参加と協力を得て緑豊かなまちづくりの推進を目的としたグリーンシティ21構想を市制100周年の2002年を目標年に策定し、市民のボランティア活動により公園や道路などの公共用地を利用し、花の植栽やその管理を行う「ふれあい花壇」を推進している。</p> <p>さらに、平成9年には地球市民という立場から、海や河川の環境の保全や再生を図りつつ、自然の節度ある利用を図り、緑豊かな美しいまちづくりを推進する「エコポリス」を掲げ、21世紀に向けた新しい呉づくりの一環として取り組んでいる。</p>

[地方公共団体]

<p>名 称</p>	<p>たらぎまち 多良木町</p>
<p>所 在 地</p>	<p>熊本県球磨郡多良木町</p>
<p>代 表 者</p>	<p>町 長 那須 孝人</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同町は、県内でも有数の林業地帯であるが、過疎化、高齢化が進み、森林づくりの推進に困難を来たしている状況にある。このような状況を克服するため、昭和60年から、町有林を活用した都市住民参加による「ふるさとの森づくり（分収育林）事業」に取り組み、同町有林120haの緑オーナーを募集したところ、県内外から約2,000人を確保するに至るとともに毎年枝打ち、除間伐等を計画的に整備した結果、現在では、同町有林は地域を代表する見事な森林へと成長し、県土緑化の推進に大きく貢献している。</p> <p>同町は、これらのオーナーとの交流を活発化するため、オーナーの秋まつりへの招待や同町の情報誌を送付するなどを行っているが、同町のこれらの活動を模範として、近隣の自治体が都市住民参加の森林づくりを導入するなど周辺地域の手本ともなっている。</p> <p>このような事業の成功がきっかけとなり、町民の緑化意識が高揚し、町民が自主的に各種公共公益施設で草花の植栽・管理を行うようになり同町の「花いっぱい運動」の展開にも積極的に貢献している。</p>

[地方公共団体]

<p>名 称</p>	<p>とよままち 登米町</p>
<p>所 在 地</p>	<p>宮城県登米郡登米町</p>
<p>代 表 者</p>	<p>町 長 中澤 弘</p>
<p>功績の概要</p>	<p>山林が約64%を占める同町は、都市住民に水源としての森林の役割と理解を深めてもらうとともに、地域住民との相互交流を促進するため、昭和60年に町有林を活用した緑のオーナー制度を設け、「ふれあいの森」として設置した。平成2年からは、キャンプ場、散策路など逐次整備し、現在では「森林公園」として、町民はもとより、緑のオーナーとの交流の場として広く活用されている。</p> <p>平成元年に、調整100周年を迎え、記念樹として町木である「梅の苗木」を全戸に配布、植樹するなど、町全体が一体となって緑化に取り組んだ。</p> <p>平成6年には、「くらしのみちづくり事業」を策定し、市街地に歩道を設置する際は、安心して楽しみながら歩ける花のあるコミュニティ道路とするなど積極的に緑化の推進を取り入れている。</p> <p>また、平成8年には、藩政時代から伝わる登米能の活動拠点として、自然の森を器とした伝統芸能伝承館「森舞台」を開設し、自然と人間との共生を感じることのできる施設となっている。</p> <p>町民も、町の施設の周辺等にフラワーポットの設置や花壇の整備等の運動を進めるなど、地区の緑化と環境美化に努めている。</p>

[地方公共団体]

<p>名 称</p>	<p>はぎわらちょう 萩原町</p>
<p>所在地</p>	<p>岐阜県益田郡萩原町</p>
<p>代表者</p>	<p>町 長 倉地 正春</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同町では、町民の自助努力により、自らが地域や町のために何をすべきか、何ができるのか自問自答するという基本姿勢のもと、昭和60年から「ふれあいの地域づくり運動」推進事業を実施し、「花いっぱい運動」や花による環境美化に取り組んでいる。</p> <p>また、昭和63年からは、同町と同町老人クラブ連合会との連携による「花いっぱいコンクール」を実施し、花のまちづくりの更なる普及・浸透を図っている。こうした取組によって、町内には90か所以上の花壇と道路沿いの2.2kmにわたる花かざりが整備され、老人クラブ連合会などによって自主的に管理されている。</p> <p>さらに、平成7年からは、花のアドバイザーの協力を得て「もっと素敵に花かざりコンクール」を実施し、家庭や企業の周辺の花壇、壁飾り、花づくり、花かざりなどを対象とした表彰を行い、公共の花壇、施設だけでなく、家庭でも花いっぱい運動を推進している。</p> <p>このように同町は、行政と町民が一体となって地域の緑化運動を積極的に推進している。</p>

[地方公共団体]

<p>名 称</p>	<p>るもいし 留萌市</p>
<p>所 在 地</p>	<p>北海道留萌市</p>
<p>代 表 者</p>	<p>市 長 長沼 憲彦</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同市では、同市が維持管理している森林公園「るるもっぺ憩いの森」において、昭和63年から毎年市民の協力を得て植樹祭を実施し、これまでアジサイ、エゾヤマザクラなど5,000本以上を植栽し、市民の憩いの場として愛され、潤いあふれる森づくりを進めているとともに、ナナカマド等の実のなる木を植栽し、バードウォッチング、ハイキング等の好適地ともなるよう整備し、緑化や市民の活用を積極的に進めている。</p> <p>また、「るるもっぺ憩いの森」においては、市民にもっと自然にもっと自然に親しんでもらうため、自然観察会や、子供達による手作り巣箱の設置、古い巣箱の清掃や撤去を行うなど、豊かな自然とのふれあいを楽しみながら、野鳥をはじめ動植物と森林の関係の理解など広く自然を尊び、愛し、親しむことができるよう工夫がされている。</p> <p>さらに同市では、平成9年から「自然と調和した緑豊かな快適都市づくり」を掲げ、緑のネットワークづくりを核とした緑化活動、公園緑地の整備や緑の環境教育の推進等を積極的に進めている。</p>